



「人の和・地域の和」いきいき“やまで”をめざして

# まちづくり計画書

2017年～2021年

平成29年5月



山手校区まちづくり協議会

# 明日の山手を 築いていくために



みんなで次の時代を創造していきます

## もくじ

「まちづくり計画書」

表紙

もくじ

P 1

はじめに(まちづくりへの想い)

P 2

地域の財産(歴史・人・物・山手の特性)

P 3~4

まちづくりへの変遷

P 5~6

民主制・開放性の組織体系

P 7~8

まちづくりへのビジョンと事業計画

P 9~10

5年を目途に立案した本計画書は、今後3年毎に検証・見直しをします

まちづくりへの想い

## はじめに

明石でもっとも活性化する「やまと」

自然・人・物・歴史がいきづく「やまと」の次の時代を考えます

明石市のほぼ中央に位置し、住みよい市街化が進む「やまと」。緑が点在し一部に田園風景も残り、そんな中に神社・仏閣も多く伝統がいきづく地域です。また、大型ショッピング施設・医療機関も充実した恵まれた環境になっています。

住みよい環境が認められ、多くの方が「やまと」に居を求め、幼稚園児数は市内でトップ、小学校もここ数年でマンモス化がみえ、市内有数の人口増加地域となりました。

一方では高齢化が進んでいる地域もあり、地域住民の交流のあり方、子ども・高齢者の安全安心、包括的福祉体系のあり方、暮らしやすい生活環境など検討しなければならない課題は山積です。

自然・人・物・歴史などの財産を活かし、「人の和・地域の和」を念頭に『明日のやまと』を、皆様とともに築いてまいりたいと考えています。是非この機会に「まちづくり」にご参加いただきますようお願い申し上げます。

# 自然・人・物・文化を活かし

# つながる「やまと」を創造

まちと自然が共存する心やすまる「やまと」

## 自然環境

山手校区は、明石市の東西の中心地大久保の北部に位置し、平坦な地形で閑静な住宅街とバランスよく配置された商業・工業地域で構成されています。高台に上がれば、点在する農地・遠くに瀬戸内海や淡路島を眺望できます。八十島池や片淵池には、オオヨシキリ・オオバン・ツグミ・カイツブリなど四季折々の野鳥が舞い降ります。

また、近世まで西国街道沿いに栄えた大窪宿・西脇の遺跡・地域の伝統文化などが数多く残り、当時のおもかげを残しています。



近世まで栄えた歴史ある大窪宿

## 歴史

明石市を東西に走る昔の西国街道。金ヶ崎から分岐した大山寺道の道標が今も残っています。

西脇の丘陵地からは、2万年前の旧石器人が生活していたこん跡も残っています。近世まで大窪宿として栄えてきた地域です。



「右大山寺」の道標



光触寺は、平安時代の武将佐々木氏が建立したと伝えられています。

境内には、天正6年に秀吉が三木(別所氏)を攻めた時に休息した「太閤の腰掛松」が今も残っています。



太閤腰掛松

脈々と受け継がれる文化遺産

## 伝統文化



毎年10月には、大窪八幡宮に近隣地域の屋台5台が集結し、五穀豊穰を感謝する勇壮な練合せが行われます。

西脇地区の子ども神輿も伝統文化継承に一役かっています。



## 左義長

西脇宗賢神社で行われる「どんど焼き」も伝統的な行事。毎年1月15日に正月のしめ飾り・書初めなどを焼き、無病息災を祈願する行事です。

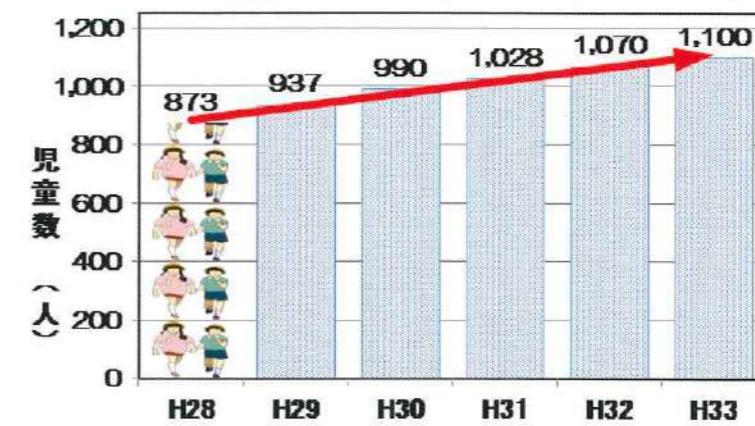
次の時代を育む確かな財産

## 人

山手校区は、県道148号線が開通して以来急速に宅地開発が進み、住みやすい環境と相まって急速に人口が増加しています。近年戸建ての増加にともない、30~40歳代の子育て世代人口も増加し、現在(平成28年4月1日)の山手小学校の児童数は、市内No.3、幼稚園児は市内トップになっています。



児童数(小学生)の推移と予測(H28~H33)

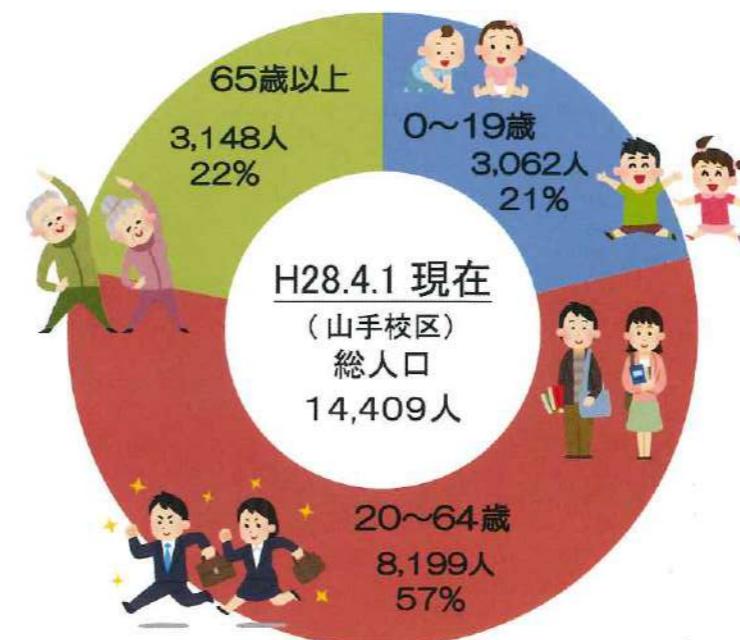


## 児童数の推移

現在開発地の用地も多く、マンモス化は必至の状況です。それだけに社会的環境整備も併せて考えていく必要性があります。

将来、社会参加をしていく子どもたちの育成も大きな課題と考えています。

## 年代別人口構成比



現在は、均衡のとれた人口構成となっていますが、地域別に見てみると高齢化率が高い地域もあり、高年福祉・健康への取り組み、高齢者と働き世代の交流、健全な子どもの心の育成など、多岐に亘る取組を検討していくかなければなりません。

# 確かなまちづくりのために 取り組んできた基礎

旧山手校区連合協議会では、平成26年7月から校区の課題の抽出に着手するとともに、平成27年の3月に山手校区連合協議会のメンバーで「山手校区まちづくり協議会準備委員会」を発足し、自治会を中心の山手校区連合協議会から、住民主体の協働のまちづくり組織への移行、会則等の検討を行ってまいりました。

当然、事務体制も新たにする必要があり、組織全体の調整・活動の進捗管理・会計事務・各種会議の運営など、多岐に亘る業務を処理するため、地域事務局を創設しました。



人の和・地域の和が  
いきづく「やまと」  
住み続けたい  
「やまと」をめざして！

住民意見交換実施（課題の抽出）

円卓ワークショップ



事務局制度検討

平成 28 年 5 月

山手校区まちづくり協議会発足

平成 27 年 9 月



未来会議  
まちづくり準備委員会

平成 27 年 3 月

まちづくり準備委員会発足

山手「まちづくり」を宣言



未来に向け笑顔がはじける社会を



明石市連合自治協議会

地域まちづくりに向け  
具体的検討に入る

平成 26 年 7 月

山手校区連合協議会

明石市

平成 23 年～

- 23年 2月 「協働のまちづくり推進条例」検討
- 23年 4月 「市民参画条例」施行
- 24年 11月～ 「協働の町づくり仕組み構築に係るモデル事業」開始
- 28年 4月～ 「明石市協働のまちづくり推進条例」施行

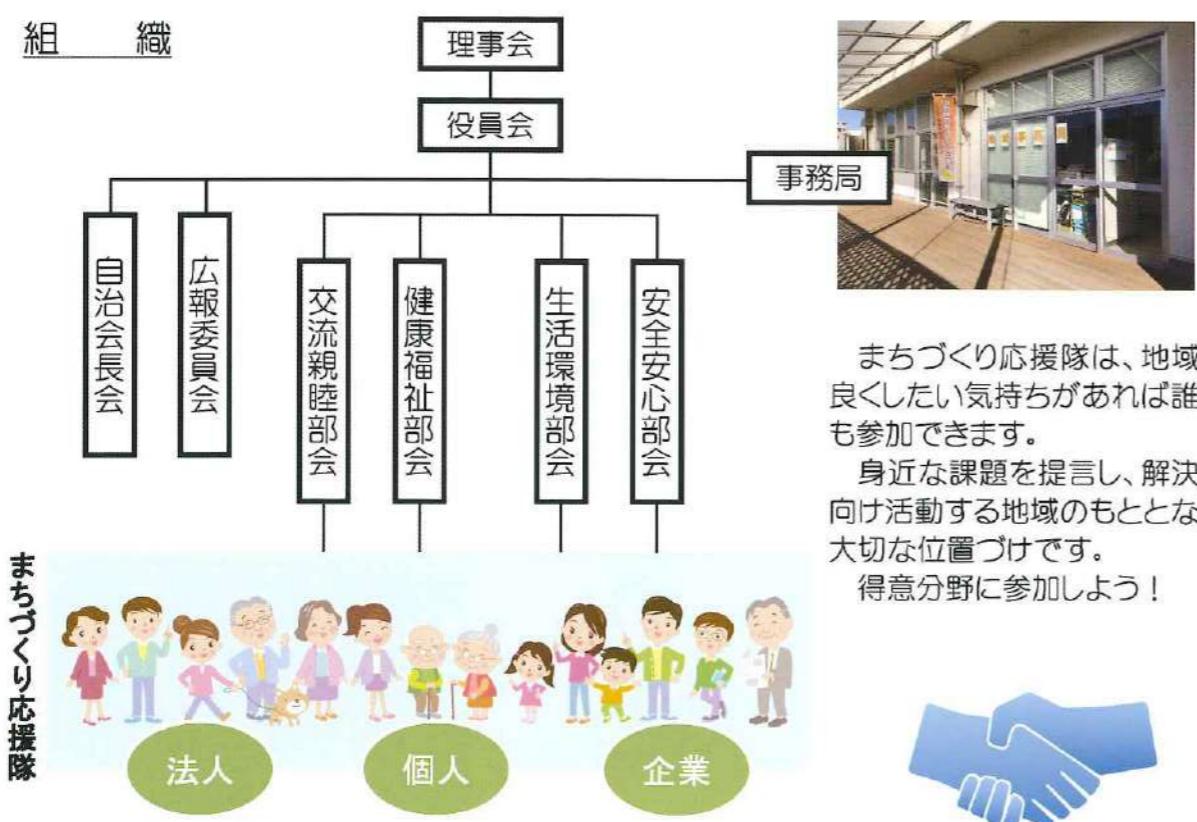
# 全住民参加型の未来に

# 民主的な体系でまちづくり



地域を創造していく体制が整いました。

- 理事 事 会 ..... 自治会・各種団体の代表者・部会の部会長で構成。  
各種報告、役員会から付議された事項等の協議を行います。
- 役 員 会 ..... まちづくり協議会の会長・副会長・幹事・会計で構成。  
理事会の議決を要しない会務を行います。
- 部 会 ..... 部会長・副部会長・部会員で構成。  
各部会に関する身近な課題、事業計画を推進します。
- まちづくり応援隊 ... 地域の課題解決のため、自分の得意とする部会に参加できます。

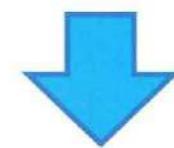
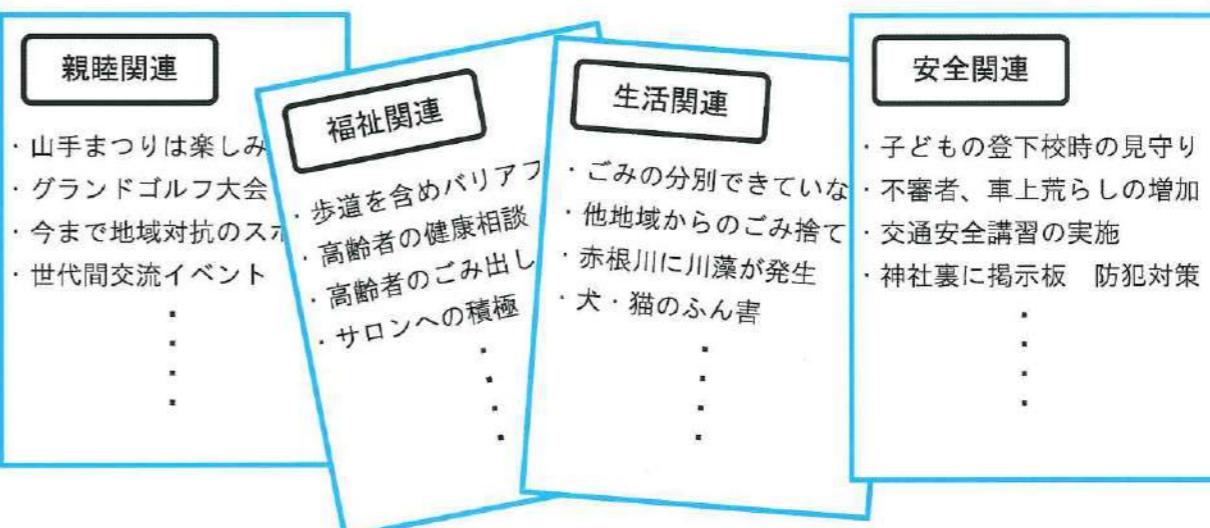


平成26年から始まった意見交換や未来会議で抽出された課題をテーマ別に区分し、28年4月に組織された「交流・親睦部会」「健康・福祉部会」「生活・環境部会」「安全・安心部会」で課題の解決に向け検討してまいりました。

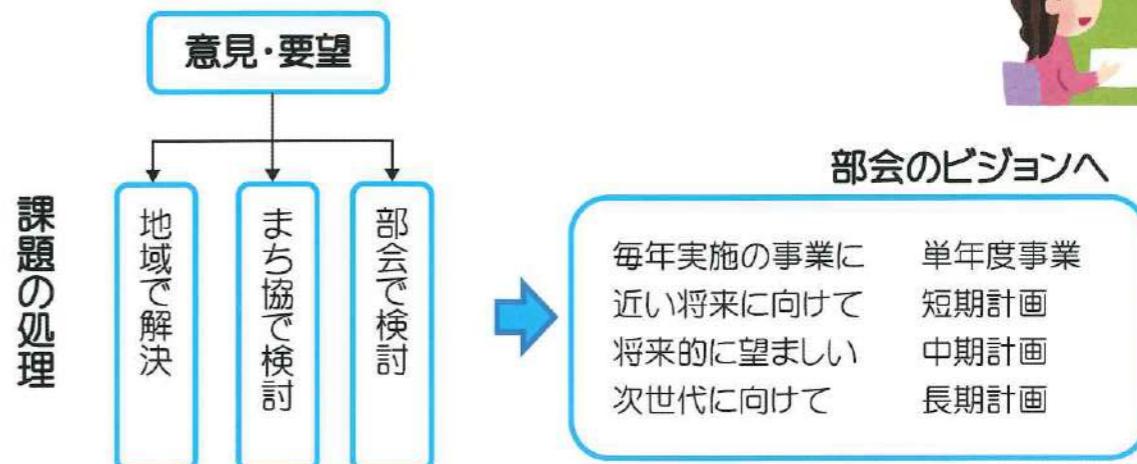
身近な課題はすぐに処理、継続的課題・近い将来あるべき姿は、各部会のまちづくり計画に盛り込み、取り組んでまいります。



## 地域住民の声で出て来た課題・要望



## 住民の意見要望は各部会へ



# 「人の和・地域の和」いき

基本方針

交流親睦部会

ふれあい寄り添い助け合い  
コミュニティー豊かな  
まちづくりをめざそう

健康福祉部会

地域みんなで支え合う  
健康・福祉をめざそう

施策

事業計画

## (1) 地域間交流

- ①やまとまつり企画・運営
- ②新年交歓会企画

## (2) 世代間交流

- ①グラウンドゴルフ大会企画・運営
- ②ミニ運動会企画・運営
- ③高齢者と子どもの交流企画・運営

【別紙実行計画書】

## (1) 地域みんなで福祉の心を育成

- ①子ども応援隊の結成
- ②献血推進運動の拡充
- ③やまと福祉フェスティバル開催

## (2) 意識啓発・広報活動の推進

- ①健康・福祉に関する出前講座
- ②認知症サポーター養成講座

## (3) 一人ひとりの居場所・健康づくりの拡充

- ①ふれあいサロンの充実・拡充
- ②健康促進活動
- ③校区健診の改善と工夫

【別紙実行計画書】

&lt;全体事業&gt; やまとまつり 新年交歓会



交流・親睦



健康・福祉

# いき「やまと」をめざして

生活環境部会

知恵をしづらってエコ生活を進め  
快適なまちづくりをめざそう

安全安心部会

みんなで考え、つくる安全  
安心なまちをめざそう

施策

事業計画

## (1) エコ生活の推進

- ①食工コの推進
- ②シンプル生活の推進

## (2) 意識啓発・広報活動の推進

- ①ごみ減量の推進
- ②生活環境に関する研修会、  
出前講座の実施
- ③啓発チラシの配布

## (3) 環境・美化活動の推進

- ①ペットのふん便マナー啓発  
活動
- ②ポイ捨て防止キャンペーン

【別紙実行計画書】

(1) 地域の目を養い育てる  
安全なまちづくり

- ①安全(危険)マップの作成
- ②子ども見守りの実施強化
- ③自転車の安全教室開催

(2) 地域の見守り犯罪ゼロの  
まちづくり

- ①防犯カメラの設置促進
- ②児童の防犯教室開催
- ③防犯パトロールの実施
- ④子ども 110 番の家増設促進

(3) 助け合い自ら動く  
災害に強いまちづくり

- ①防災研修会、防災訓練の企画  
・実施
- ②防災マップの作成
- ③防災資機材の点検

【別紙実行計画書】

&lt;自治会長会&gt; 敬老会



生活・環境



安全・安心

# まちづくり参加団体

山手小学校/山手幼稚園/小幼PTA/高年クラブ連合会/校区子ども会/児童クラブ父母会  
スポーツクラブ21山手/地区社会福祉協議会/民生児童委員/スクールガード山手  
防犯協会山手支部/自治会関係者/一般参加(個人・企業ほか)



## 山手校区まちづくり協議会

674-0051 明石市大久保町大窪1600番地(山手小コミセン内)

電話・FAX (078)771-7947

メール [yamate-machikyo@hyogo.zaq.jp](mailto:yamate-machikyo@hyogo.zaq.jp)



「人の和・地域の和」いきいき “やまで”をめざして

# まちづくり計画書

実行計画書

平成29年5月



山手校区まちづくり協議会

# “まちづくり計画”ってどんな計画？



“自分たちのまちを自分たちがつくっていく” 計画です



それは



“行政主導（トップダウン）”でなく  
“市民主体（ボトムアップ）のまちづくり”です



## 何故、今まちづくりなの？

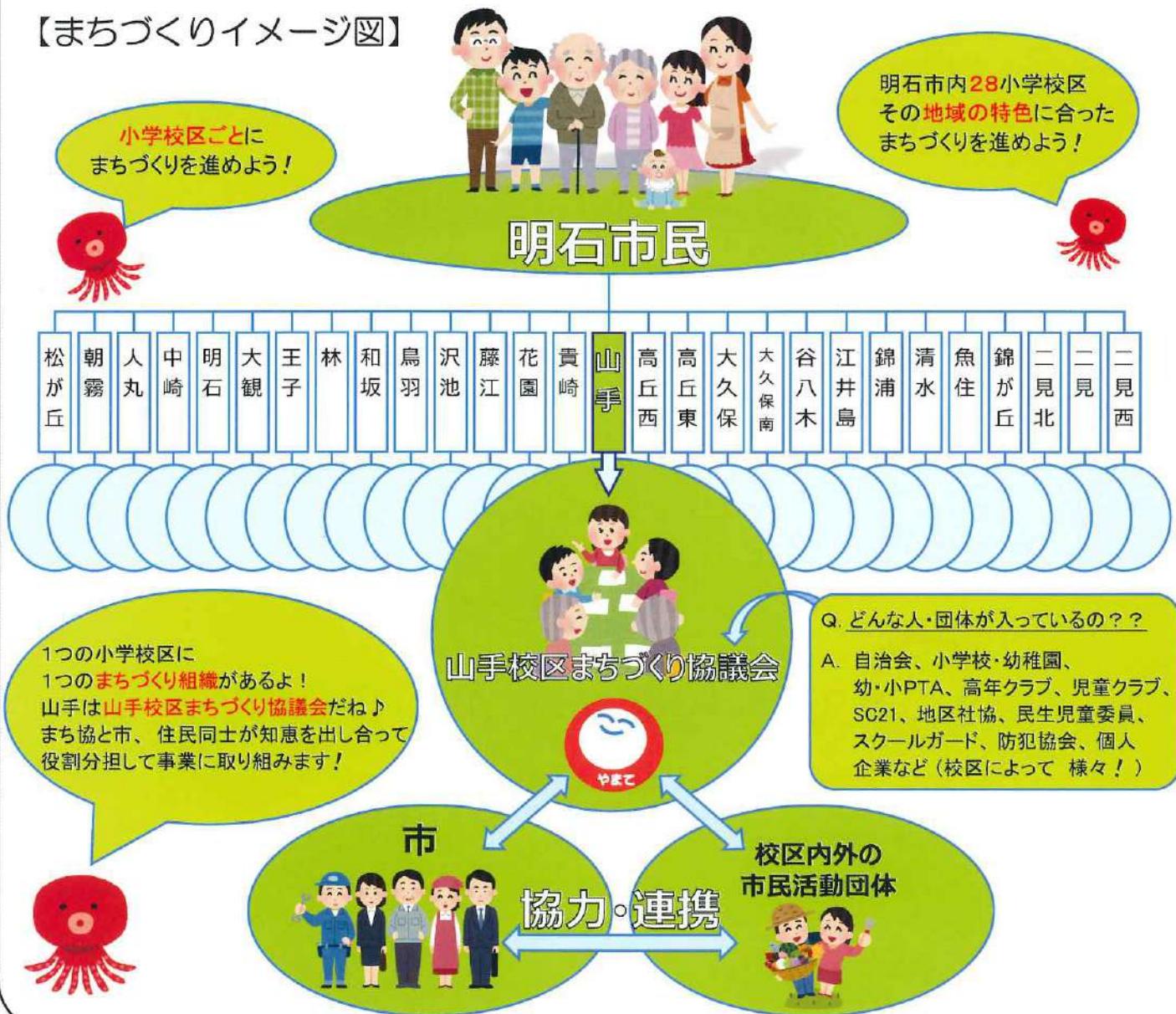
地域（校区）によって年齢構成、住居条件（マンション・戸建てなど）、交通事情など、地域環境は異なります。

みんなが暮らしやすいまちにするには、その地域の特色に合った“まちづくり”が求められます。

その実現には、地域事情（情報）に詳しい、そこに住んでいる人たち（地域住民）の協力（全員参加のまちづくり）が不可欠です。

行政が単独で地域の課題解決を行なうのではなく、地域のことを一番よく知っている地域住民のみなさんが、行政と一緒に適切な役割分担のもとで、知恵や力を出し合って連携し、多様化・複雑化した地域課題に取り組むことが重要となってきます。（**協働のまちづくり**）

## 【まちづくりイメージ図】



# "専門部会"ってどんな部会があるの？

各地域より提案された課題を内容により、それぞれの部会に振り分け各部会で解決に向けて協議していく

但し、1部会に課題解決を任すのではなく関りの強い部会が中心になって活動する（音頭取り）のであって、全部会が関りを持ちながらまちづくりを進めていく





# 交流親睦部会 実行計画



**【基本方針】 ふれあい寄り添い助け合い  
コミュニティー豊かな  
まちづくりをめざそう**

とにかく  
最初の一歩を  
踏み出すのが大事

施策	事業計画	具体的施策(実行内容)	※毎年改善を加えながら実行				
			2017	2018	2019	2020	2021
地域間交流	既存事業 やまとまつり 企画・運営 毎年	▶「人の和」「地域の和」の理念が基軸となる事業 時代時代で環境も変化する。その時代に応じた人々の交流のあり方を模索しながら単年度ごとに実施していく。					
	既存事業 新年交歓会企画 毎年	▶住みよい山手を築いて行くための基軸となる事業 行政・企業・医療・福祉・学校・PTAなど地域を支えていただいている方々との交流事業。					
世代間交流	新規事業 グラウンドゴルフ大会 企画・運営 3年	▶高齢者の健康維持と子どもとの交流事業 高齢者、子どもを含むチームを作り、地区社協、高年クラブ連合会と協力し、世代間の交流を進めていく。				企画・調整・実行・改善	
	新規事業 ミニ運動会企画・運営 3年	▶山手小学校区の親子の絆や親同士の交流・親睦を深める事業				企画・調整・実行・改善	
	既存・新規事業 高齢者と子どもの交流 企画・運営 3年	▶古くからある伝統を伝承する事業 幼稚園・小学校の行事や、敬老会、やまとまつりの場において、高年クラブ連合会や各サロンと連携し子どもとの交流を図る。				企画・調整・実行・改善	

※3年ごとに見直します



# 健康福祉部会 実行計画

**【基本方針】 地域みんなで支えあう  
健康・福祉をめざそう**



施策	事業計画	具体的施策(実行内容)	※毎年改善を加えながら実行				
			2017	2018	2019	2020	2021
福祉の心を育んで成	新規事業 子ども応援隊の結成 3年	▶小学校・中学校と一体となり地域活動に参加してもらう。子どもの頃から、地域で活動する事、他の人と協調する事の大切さを学んでもらう。 (自治会・各種団体・小学校・中学校にチラシを配布)				→ 小学校・中学校・学校関連団体と連携	
	既存事業 献血推進運動の拡充 毎年	▶自治会、各種団体と連携し、周知方法の工夫、また近隣店舗などにポスター掲示の協力を呼びかけ、協力者アップをめざす。 ▶献血のイメージを改善するため、献血に関する出前講座などを企画する。				→ 自治会・各種団体・近隣店舗と連携し、献血の輪を広げる	
	新規事業 やまと福祉フェスティバル開催 3年	▶社会福祉協議会・福祉関係の団体とも連携して、福祉の重要性を地域で考える機会とする。年に一度開催する事で、地域住民に福祉の大切さを学んでいただく。			→ 地区社協で調整・実行・改善		
広報意識活動啓発・推進	既存・新規事業 健康・福祉に関する出前講座 毎年	▶熱中症、インフルエンザなど、発症時期前に啓発チラシを配布することで予防を図る。 ▶市健康推進課と共に、健康管理に関する出前講座・健診結果説明会を企画・実施し、健康に対する意識の啓発を図る。			→ 市健康推進課と連携		
	新規事業 認知症サポーター養成講座 3年	▶社会福祉協議会に要請して、講師を招き一人でも多くの方に、知識を持っていただき、認知症への理解を深める。		→ 社会福祉協議会に要請・開催時期など検討			
一人ひとりの居場所拡充	新規事業 ふれあいサロンの充実・拡充 毎年	▶他の団体のサロンも見学し、内容を充実させる。また未実施地域のエリアも実施をめざす。			→ サロンごとの情報共有・民生や地区社協と連携し、サロンの充実を進める		
	新規事業 健康促進活動 5年	▶ハイキング・ウォーキング・健康体操などの実施を計画し、地域住民の健康増進を目的に活動する。 ▶サロンと連携し、開催場所の拡充を検討する。			→ 健康増進につながる活動の検討、サロンや市健康推進課と連携し実施		
	既存事業 校区健診の改善と工夫 毎年	▶市地域医療課と連携し、迅速な日程の周知を図る。 ▶一人でも多くの方に受診していただけるよう、周知方法等を検討し、出前講座とポイントカードを活用して、受診者アップをめざす。			→ 周知方法を工夫し、出前講座などを活用する		

※3年ごとに見直します



# 生活環境部会 実行計画

**【基本方針】 知恵をしづってエコ生活を進め  
快適なまちづくりをめざそう**



施策	事業計画	具体的施策(実行内容)	※毎年改善を加えながら実行				
			2017	2018	2019	2020	2021
エコ生活の推進	新規事業 食エコの推進 3年	▶ごみを出さない料理の工夫 冷蔵庫内の管理から買物節約術 ▶家庭内で食べきれる料理の工夫 残飯を出さない買物節約術					
	新規事業 シンプル生活の推進 3年	▶物を持たないシンプルな暮らし 身辺整理・終活について					
広報意識啓発の発進	既存・新規事業 ごみ減量の推進 5年	▶ごみ減量推進協力員の研修会を通じ、市で策定された循環型のまち・あかしプランをモデルとした取組みの実施・廃品回収					
	新規事業 生活環境に関する研修会 出前講座の実施 毎年	▶市資源循環課、環境総務課などが実施する出前講座を企画し、アドバイスをいただき、美しく住みよい環境をめざす					
	新規事業 啓発チラシの配布 毎年	▶市健康推進課との連絡を密にしその都度、啓発チラシの発行を実施。市保健所が開設された時点で再考 ▶ Dengue熱や熱中症など、生活・環境に関するチラシを配布					
環境・美化活動の	新規事業 ペットのふん便マナー 啓発活動 5年	▶各自治会に「犬のふんは持って帰ろう」の看板が設置されているが色褪せた看板を新しい看板に置換える。 ▶散歩のときは、ペットボトルの水を携帯し、ふんの後始末をするよう飼い主に呼びかける。					
	新規事業 ポイ捨て防止キャンペーン 5年	▶ポイ捨て防止を呼びかけ、校区内でごみ拾いを実施する。 ▶子どもの教育にもつながるよう、リサイクルや資源循環に関する講演などの開催も併せて検討する。					

※3年ごとに見直します



# 安全安心部会 実行計画



**【基本方針】 みんなで考え、つくる安全  
安心なまちをめざそう**

施策	事業計画	具体的施策(実行内容)	※毎年改善を加えながら実行				
			2017	2018	2019	2020	2021
育 地 ま で ち る づ 安 く 全 を り 養 い	新規事業 安全(危険)マップの作成 5年	▶すでにあるPTA危険マップの修正を、部会と共同で行う。					→
	既存事業 子ども見守りの実施強化 3年	▶スクールガードの加入促進のPR ▶地域住民に無理のない範囲での見守りを呼びかける (例:わんわんパトロールなど)					地域見守り協力の呼びかけ・スクールガードPR →
	新規事業 自転車の安全教室開催 3年	▶自転車事故を未然に防ぐため、学校・警察と連携し安全教室を開催 ▶自転車保険や、自転車事故などの事例の研修会を開催					市交通安全課と連携 →
犯 罪 地 域 の ま 見 ち 守 づ り く り	新規事業 防犯カメラの設置促進 3年	▶防犯カメラは事件を未然に防ぎ、万が一の際、録画再生を行なう。また、抑止力が期待できるため、必要であれば各自治会に設置の呼びかけ、設置方法などサポートする。					山手独自の防犯カメラ申請マニュアルを作成 →
	新規事業 児童の防犯教室開催 毎年	▶子どもたちが自身の危険を見抜き、危険に直面した時の対処方法を市・学校・警察と共同で開催 ▶学校関連団体と連携し、開催時期などを検討する。					内容を検討し、行政・学校関連団体と連携し、実施
	既存・新規事業 防犯パトロールの実施 毎年	▶安全・安心のまちづくりの一環として青色パトロールを実施し、住民の防犯意識を高め犯罪の抑止を図る。					パトロールのルートを毎年度見直し、実施
	新規事業 子ども110番の家増設促進 3年	▶自治会・各種団体にお願いし、校区内の子ども110番の件数を調査し、協力していただける家庭の拡大を図る。					件数調査、協力の呼びかけ →
自 ら 助 け ち く づ 災 く 害 り に	既存事業 防災研修会 防災訓練の企画・実施 毎年	▶災害時に被害を最小限にとどめる研修・訓練を実施 ▶研修・訓練参加者の検討、それに伴い内容を変更する。 ▶他校区の訓練も参考に部会で企画する。					内容の検討・実施・見直し
	新規事業 防災マップの作成 3年	▶万が一の災害に住民が安全に避難できるよう、避難場所などの情報を明示する。 ▶家庭防災マップの修正を行う。					家庭防災マップの修正 →
	新規事業 防災資機材の点検・配備 毎年	▶災害用資機材の点検表に基づき、資機材を点検し、正しく使用できるようにする。					各自治会に呼びかけ、資機材の点検を意識づける

※3年ごとに見直します



## 山手校区まちづくり協議会

674-0051 明石市大久保町大窪1600番地(山手小コミセン内)

電話・FAX (078)771-7947

メール [yamate-machikyo@hyogo.zaq.jp](mailto:yamate-machikyo@hyogo.zaq.jp)